

平成 27 年度 第 7 回西区自治協議会会議録

日時：平成27年10月29日（木）午後3：00～4：20

会場：西区役所健康センター棟1階大会議室

< 1 開会 >

< 2 議事（1）部会の状況報告（通常部会・特別部会） >

（岩協会長）

皆さん方、委員研修ということで長時間いろいろな議論をありがとうございました。それでは議事に入りたいと思います。（1）部会の状況報告でございます。各部長より、簡潔に概要報告をお願いしたいと思います。今回は平成 28 年度特色ある区づくり事業委員アイデアと事務局案について、各部会で審議を行っていただきましたので、それを中心にご報告いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。なお、担当部会での決定は尊重したいと思います、その他の意見が多くあった場合は、この場で皆さん方と審議して、当協議会の意見を決定したいと思います。それでは第 1 部会から報告をお願いいたします。

（笠原第 1 部会長）

第 1 部会は 10 月 8 日、午後 1 時 30 分より 4 時まで、西区役所健康センター棟 1 階 105 会議室で行いました。出席者はご覧のとおりです。1 番目、公開授業に関する役割分担等について、資料に基づき事務局から当日のスケジュール及び役割分担について説明がありました。当日の役割分担を決定し、チラシ作成担当を決め、次回部会までに案を作成することとしました。チラシの完成予定は 11 月上旬、五十嵐中学校区の自治会へは 11 月 15 日より回覧をお願いします。また同時に自治協委員、コミ協へも配布します。

2 番目、平成 28 年度特色ある区づくり予算について、9 月の本会で配付された資料 2 及び資料 3 に基づき、事務局から説明がありました。審議の結果、示された区企画事業案については異議なしとしました。委員から出されたその他の意見等は下記のとおりです。資料 2 「委員アイデアに対する担当課の考え方について（アイデア）」、整理番号 10、防犯に関する地域の意識調査の実施。地域の情報交換ができていないので、防犯組合と警察や区役所等の意見交換を実施してほしい。交通安全に関しては、協議会があるが防犯に関して警察と学校との連携ができるようなものがあるのか。連絡協議会はあるが、連絡会のようなものはない。

意見、整理番号 5、私道除雪問題の検討事業。お金はかからないので、事業にしなくてもよいが、コミ協と協力して、問題点を整理する必要があると思う。資料 3 「平成 28 年度特色ある区づくり事業 事務局案」、整理番号 4、西区安心安全推進事業。体験型交通安全教室や防犯教室推進事業は、学校から希望して行うものなのか。体験型交通安全教室は、

希望校のみで実施する。防災教育推進事業は、防災教育メニューの中で学校が希望するものがあつた場合、提供する。

今回の開催は、11月10日火曜日、午後1時30分から、区役所3階303会議室にて行います。議題は平成28年度自治協議会提案事業についてです。

(岩協会長)

ありがとうございました。部会長、整理番号12を飛ばしたので、もう一度お願いいたします。

(笠原第1部会長)

整理番号12、いきいき保安林づくり。伐倒した松はその後どのように処理しているのか。伐倒した木はそのままにし、自然に返す。木に付いている松くい虫は燻蒸により駆除するので、そのままにしても問題ない。伐倒後の植樹は、県が年次計画で進めている。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。特色ある区づくり事業事務局案に対する部会の審議結果について、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。なければこのまま全体の意見とさせていただきます。続きまして、第2部会、お願いいたしますと思います。

(郷第2部会長)

第2部会は、10月7日水曜日、午後3時から5時半まで行いました。2時間の予定が、意見がたくさん出たもので、30分も延長して会議を行いました。出席委員は13名、ここに書いてあるとおりでございます。議事は、平成28年度特色ある区づくり事業について、9月本会で配付されました資料に基づき、事務局から説明があり、区役所企画事業の事務局案について、事業ごとに質疑応答と意見聴取を行い、審議いたしました。全体的には部会として異議なしという意見集約がなされました。委員から出された細かい意見を発表させていただきます。

まず資料2「委員アイデアに対する担当課の考え方について」、地域包括ケアシステム構築のための必要在宅ケア実態調査事業であります。要介護、要支援者の数を小学校区単位で公表し、地域で見守りを進めていく際に、名簿等の活用が必要となるのではないかと。公表のあり方についてよく検討してほしいという意見が委員から出ました。要介護、要支援者数に応じて、必要な施設整備やサービス提供を考えていく必要があります。将来的には自治会単位での集計が必要ではないかと。特に自治会長なのですが、本当に自分たちの地域のことを支援していきたいというときに、この具体的な数が分からないと動きが取りにくいのではないかとというご意見でございました。

資料3「平成28年度特色ある区づくり事業事務局案について」は、整理番号1番、西区

子育てサポート事業について、「新・すこやか未来アクションプラン」を見ても、多くの家庭が今子育てに不安を持っており、不安解消に向けて、この事業は大いに実施していただきたいという、応援メッセージのようなご意見がたくさん出ました。

整理番号2、西区DE健康応援事業は、健康づくりにおける各種講座について、実技指導の充実と、すごく健康に関心を持っていらっしゃる方が多いので、専門性を高めたメニューも入れて、実技と専門性知識といういろいろな角度からの講座にしていったらどうかというご意見がありました。また区づくり事業にかかわらず、公民館事業などでコミュニティハウスやコミュニティセンターなどでのサテライト的な実施もやっていただくと、たくさんの方があちらこちらで参加できていいのではないかと、区だけではなくいろいろな機関との協働の事業も考えてほしいというご意見が出ました。

整理番号3番、あんしん・ふれあい・ささえあい事業です。孤立ゼロ作戦訪問事業について、可能な限り実情の分かる民生委員と帯同して調査を実施するのがいいのではないかと、民生委員との連携についてご意見が出ました。

整理番号8番、西区こども1日区長事業です。区役所の業務を知ってもらおうということに主眼を置いて、西区こども1日区長事業が行なわれているということでしたが、なかなか一般の区民に対して、区長の仕事というのが分かりにくいので、区役所探検という視点が入っているようなので、ネーミングを変えると、もっと子どもたちが気軽に応募してくるのではないかと意見が出ていました。

整理番号15番、西区地域デザイン講座（ジュニア版）です。2年間、中学校単位でコミ協の役員と中学生が話し合ってみました。ほかの市町村のお話も聞いて、子どもたちがじゃあ西区ではこういった特色があるから、こういった未来をデザインするという、もう少し大きな視点での未来デザインというのもいいのではないかと意見、そして西区は都市と農村が融合するまちであり、まずは次世代を担う子どもたちに、区内の都市部と農村部の交流を図る現在の方式をもう少し続ける意義があるのではないかなど意見が出ていました。そのあたりの意見をまた考えながら、区では、さらにいいものとしてやっていただけるのではないかと考えています。

もう一つ大きな議事としまして、学校統廃合にかかわる適正配置基本方針の現状について、第2部会で学習会をやりたいと先回話がまとまっていたので、教育総務課の方に来ていただいて、新潟市内における小中学校の適正配置基本方針と、西区の小学校の適正配置の状況、そして中央区で4つの小学校が統合した際の経緯について説明をしていただきました。少子化により、将来的には各地域で生じる問題であるとの認識を共有し、現状についての見識と理解を深めた学習会となりました。

委員から出された主な質問事項等は記載のとおりです。統廃合のほかに、方策として校区の再編というのは考えられているのか。それに対しては、現状の区域を増減することなので、現実的には難しいということでした。ただ一つの方策として、その都度検討を行っていくということです。

また学校の立地自体についての再検討は行えるのか。農村部では市街化調整区域の土地

に余裕があり、これを活用できないのだろうか。これに対しては、今後の財政負担を考えると、新たに学校を整備することは困難であるそうです。現在は校舎や施設もできるだけ長寿命化を図っていく方向で取り組んでいます。また市街化調整区域での学校建設は、都市計画法改正により、年々条件が難しくなっているというお話を聞かせていただきました。

赤塚地区ではみずき野地域の人口が増え、統廃合検討の必要が生じており、検討の場づくりの働きかけを、ぜひ行政からも支援してほしい。少人数学級パイロット事業について、県の支援がなくなった際は継続されるのか。少人数学級パイロット事業によって学級数が増えていますので、子どもたちの人数が変わらなくてもクラス数が学校の中で多くいるということに関連しての質問でした。県から市へ教職員の給与権・負担が権限移譲される際の検討事項となるが、市としてもなるべく継続されるように努めていくというお答えをいただきました。

次の議題です。第2回教育ミーティングのテーマ決定について、話し合いを行いました。9月に実施された第1回目の各区教育ミーティングの状況について、資料に基づき事務局から説明をいただきました。西区では第1回の実施を受けて、11月に開催する第2回では、部会を主体に開催することから、第1回のテーマがパートナーシップ事業やふれあいスクール、地域と学・社・民融合というテーマでしたのでそれに継続性を持たせながら、より部会らしい具体的な議論を深められるように企画することとしました。具体的には、もう少し事務局と部会長、副部会長で相談のうえ決定し、お知らせしたいと思います。次回の会議においては、区内の各学校の地域教育コーディネーターの取り組み状況を把握するために、パートナーシップ事業等の一覧を事務局から作成してもらい、資料として提出してもらうことといたしました。

委員の方から出された意見としましては、深めていくということなのですが、具体的には地域側からすると、学校は何をどこまでできるのか、地域に何をしてほしいのか、お互いもう少し知って、そしてお互いが何をしていくべきか、ということを考える必要があるのではないかという意見が出ておりました。

その他としましては、自治協提案事業のスポーツ鬼ごっこの講習会について3月5日、西総合スポーツセンターの予定だったんですが、会場が手配できなかったので、黒崎南小学校の体育館で、日程を変えず会場を変えて行うことといたしました。

次回の会議におきましては、自治協提案事業の検討の基礎資料とするため、9月に行った高齢化をテーマにした講演会のアンケートを事務局にてまとめていただくことといたしました。次回の日程は11月6日3時から、西区役所3階303会議室で行います。議題は28年度自治協提案事業についてです。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。まず特色ある区づくり事業事務局案に対する部会の審議結果について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。では、私から参考なのですけれど、今日の新聞に市町村の各首長が中学生を集めてワークショップをやったと載っています。

した。これから自分のまちをどうするかというテーマだったと思います。

ここで私どもが中学生とワークショップをやりましたね。もうすでに私どもは2回目ですから、先をいっていると私は感心しました。皆さんから質問等ございますか。はい、広瀬さん、お願いします。

(広瀬委員)

公募委員の広瀬です。質問ではないのですが、お願いというか要望なのですが、学校統廃合に係る適正配置基本方針ということでお話があったということなのですが、例えば西区の適正配置の状況等を、皆さんご存知だったら申し訳ないのですが、こういうところについて本会というか、第2部会だけではなくて、もう少し勉強させてもらいたいと思いました。

(岩協会長)

私も福祉部会に出て、事務局からこの説明を受けました。ただ自治協議会においては、学校の統廃合等について、私どもは意見を聞くことはあっても決議権はありませんので、参考意見として聞いたということです。もっと具体的に、どこどこの学校が対象になっているということをお聞きしたいということですか。

(広瀬委員)

そればかりではないけれど。

(岩協会長)

この前事務局から西区において、どういうところにどういう問題があるというか、統廃合の対象とは言いませんけれど、近い将来問題が出るのではないかということは、さわりだけ聞いたのですが、具体的な校名は言わなかったと記憶しております。郷部会長、何か補足説明がありましたらお願いします。

(郷第2部会長)

この件に関しましては、第2部会でも時間が押していて、事務局からの説明のみだったので、もしだったら資料等を皆さんにも配付させていただきませんか。

(岩協会長)

分かりました。今事務局からホームページにもうすでに載っているものもあるそうです。そこを参照していただければ。

(広瀬委員)

単純に私が認識をしたいということではなくて、会長がおっしゃったように、地域づく

りというか、まちづくりという点でも、小中学校の適正配置というのは大きな問題だと思うので、自治協の中でも問題にすることなのではないか。決定権云々とかそういうことではなくて、地域から出ているわけですから、問題として提起されてもいいことではないかということです。

(岩協会長)

これについては、私、「はい」という返事はできませんので、これはまた部会、事務局と協議していきたいと思います。具体的な話は少し高島委員からも出ておりましたけれど、そういったところについては、ホームページに載っているということですから、それを見て、またご意見をいただきたいと思います。

それではこのほかに第2部会の報告全般に関してご意見、ご質問等がございますか。なければ第3部会からお願いしたいと思います。

(塩川第3部会長)

第3部会の会議の概要を申し上げます。開催日時は10月9日金曜日、午後1時30分から4時10分まで。会場、出席者は記載のとおりでございます。

議事の1番目ですが、平成28年度特色ある区づくり事業について、9月本会で配付された特色ある区づくり事業関係資料2及び3に基づき、事務局から説明がありました。区役所企画事業の事務局案について、事業ごとに質疑応答と意見聴取を行い、審議の結果、いもジェンヌの魅力の一層の周知・発信に向けて、基軸となるPRポイント及びコンセプトの明確化について検討されたい旨、部会として意見をとりまとめました。

委員から出されたその他の意見等は下記のとおりでございます。資料2「委員アイデアに対する担当課の考え方について(アイデア)」、整理番号7、西区地域産業活性化事業。商業など、それぞれ個別の会議と別に、事業者団体を含めて、西区の産業全体を議論する検討会の設置が必要ではないか。

資料3「平成28年度特色ある区づくり事業事務局案について」、整理番号5、農商工連携推進事業。いもジェンヌをさらに周知するため、商品開発にあたり、例えばいもジェンヌの使用比率などの基準を定め、その要件を満たしたものを積極的にPRするなど、企業間で連携した取組を推進できないか。いもジェンヌの魅力の一層の周知、発信に向け、ペーストによる味覚だけではなく、食感や形状も伝わるよう、基軸となるPRポイントやコンセプトの明確化を検討したらどうか。例えば菓子製造だけでなく、B級グルメのように飲食店参加により考案メニューを競う、「いもジェンヌグランプリ」といった仕掛けも考えられるのではないか。

茶豆夏の陣については、品種や収穫時期を踏まえると、開催時期を7月下旬よりもう少し遅くした方がよいのではないか。引き続き商店街の活気につながるよう、開催をお願いしたい。

整理番号13、「歩いて見つける!『北国街道』おもてなし事業」。今年度番外編として取

り組む「砂丘歩き」も大いに活用したらいいのではないか。

議事の2番目、西区の特産物・観光カレンダーについて、西区ふれあいカレンダーについてワーキングチームリーダーの永吉委員より校了の報告がありました。効果的なPRに向け、プロジェクトチーム2で企画する西区アートフェスティバルでの配布を皮切りとし、行政施設や学校などの配布場所及び設置部数について決定しました。

アンケートについて、当日回収が見込まれる西区アートフェスティバル用と、その後の一般配布用の設問について検討を行いました。アートフェスティバル配布用については、設問内容を一般配布用と一致させ、設問数を絞り込んだ上、プロジェクトチーム2へ掲載協力依頼を行なうこととしました。一般配布用アンケートの回収方法について検討を行い、一定の回収が得られるよう、行政施設におけるカレンダー配布の際に、アンケートと共に回収箱を設置して、回答を募る方式としました。

委員から出された意見等は下記のとおりでございます。年代の属性について、回答に抵抗感がある方もいる。可能な限りお願いするといった文言を加えた方がいい。集計分析ができるよう、アートフェスティバル配布用と一般配布用ともに設問の表記は一致させた方がいい。

3番目、西区拠点商業活性化推進事業計画について、農政商工課長より、西区拠点商業活性化推進事業計画について説明がありました。西区の商店街の現状や商業活性化について見識と理解を深めました。

委員から出された主な質問等は下記のとおりであります。内野地域と黒埼地域を拠点商業地域としているが、時代の情勢に合わせた名称等の見直しが必要ではないか。市全体で戦略的に振興策を検討する産業振興会議のようなものを設置する必要があるのではないか。

今回の開催日程について、協議の結果、11月11日水曜日午後3時から、西区役所3階303会議室にて行います。議題は自治協提案予算について、ほか。以上でございます。

最後になりましたが、カレンダー完成の報告でございます。皆様にカレンダー1部を配付させていただきました。アートフェスティバルでの配布もしまして、ほかに公共施設などでも配布しております。以上でございます。

(岩脇会長)

ありがとうございました。只今の第3部会長のご説明に、質問・意見等ございましたらお願いします。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。一つ、西区拠点商業活性化推進事業の委員からの意見で、正確にはこういうことではないので、少し申し上げます。そのとき時間がなかったので、商業の問題に触れながら、産業もどうしていったらいいかということについてお話ししたいと思います。最初にこの計画を作るアンケート活動をやっていただいて、これは商業活性化の検討の出発になりますので、よかったですと思います。本当にご苦労だったと思います。ありが

とうございました。

ただ3点感じておまして、一つは内野町、黒埼の大野町の商店街はすでに西区の拠点商業地域ではなくなっています。西区拠点商業活性化と書いてあるけれど。ただ、やっている具体的な事業の中身は近隣商業地域についての政策だというのは、これはいいんです。拠点というのは、西区から人を集めるところなので、これはすでにイオンが2件、アピタもありますし、山田地域の商店街もあります。そういう意味ではそこが拠点になっています。ただ、今は、商業地域、準商業地域以外に1万㎡以上のスーパーをつくってはいけないことになっているのです。これから我々は年寄りになって、車でスーパーに行けなくなる人が増えてくるわけだから、そのときに歩いて行ける近隣商店街をどうやって残すかというのが、産業政策、商業政策の問題で一番大事なのですよということを、時代認識や背景としてそういうことを考えようというお話だったのです。そういうことが趣旨であります。

2つめが、この企画でちょっと残念だったのは、そういう現状なのですが、商業者自身、お店をやっている人自身が何をやるかということ、どういうふうに自分を変えるかということがあまりないのです。あるのは接客技術、商品配列の講習会、店主の笑顔を載せたスマイルボードの設置、児童・生徒の学習体験への協力、宅配便や高齢者世帯への出張販売ぐらいなのです。消費者が商店街に行かないのは、行きたい店がないからなのです。人寄せのイベントをやって、人は来るかもしれないけれど、来ても商店街では買い物しないで素通りだということでもあります。商店街の活性化をするためには、商業者も一定のリスクを背負って、人が来なくなる店にしなければならない。ただ高齢者が多くて、もうそういうことができないということであれば、外部から人を入れなければだめなのです。行きたい店がない商店街には誰も来ません。外部から人という場合、学生であったり、農家であったり、いろいろ知恵を使って、その商店街を活気づけていく上では魅力的な店をどうやってつくるかということを考えていくことが大事だということです。

3つめが、内野と黒埼・大野町の商店街の状況がちょっと違うのです。どういうふうに違うか。1日の来客数が10人以下の商店の割合は、内野36.8%、黒埼・大野町64.8%、後継者なし、内野48.5%、黒埼・大野町66.7%、5年前と比較して良い、少し良い、内野8.9、黒埼・大野町は0.0%。子育て世帯の商店街利用者の満足度、内野25.0、黒埼・大野町3.7%。内野以上に黒埼・大野町は非常に厳しいのです。内野の場合は商店街の外れに小さなスーパーがあつて、結構流行っています。そういう意味で言うと、非常に困難ではありますが、しかし光もあるのです。大学が近くにあるとか、発展の可能性を持つ特産物が近くにあるとか、鉄道駅があるとか。

少し提案を申し上げて、これから私がやっていくのは経営学でSWOT分析といたしまして、内部的な強み、弱み、外部的な機会とピンチにどう対処していくか、その商店街をどうしていくか。今各商店街、地域で、この経過に基づく政策が進められていきますから、それをやりながら、少しそれを横に見て、私なりの検討や研究をしていきたいと思っています。

新潟市に経済部という部署があります。経済部という部署には、産業政策課、産業振興

を考えるとですね。それから商業振興を考える、商業振興課というところがあります。産業政策課は毎年、「新潟市 経済部の概要」という冊子を出しているのです。その中に「産学連携商店街活性化推進事業」というのがあるのです。平成 27 年度予算で、予算 310 万 5,000 円です。25 年から始まりました。

どんなことをやっているかという、万代シティの PR、アニメ専門学校がキャラクターを制作。イルミネーションパレード。古町アートフラッグ、これは、新大教育学部の学生がお店の包装紙を使い、フラッグを作成し商店に展示する。本町の祭りで東京学館の書道部の生徒がライブパフォーマンス。大きい書を書くんだと思います。それから新津の新光商店街のシャッターアート。専門家が鉄道車両の細密原画を描いて、そこに新潟薬科大学の学生がペイントをするのだそうです。産学の学は学問の学なのです。これが、学問と産業が連携した策といえると思います。

西区でも大学連携という事業があって、佐潟なんかに関係してずいぶんいいものもあるのですが、そうでなくて、何かサークルを中心にやっているという程度のももあるのです。大学のサークルと一緒にやるレベルのものは、私は厳しく言うと、産学連携ごっこのように思います。前回紹介した新潟医療福祉大学の取組は残念ながら市の拠点整備事業には採用されませんでしたけれど、大学のカリキュラムの一環として、学生の成長と地域課題の解決を一緒にやっていこうという姿勢が明確です。西区でも新潟大学がすぐ近くにあるわけですから、学問と連携した商店街や地域づくりをしていきたいと思います。全国では前に紹介しましたコミュニティカレッジの取組だとかコミュニティビジネスによる商店活性化事例がたくさんあります。新潟市でも少し私もかかわりましたが、沼垂朝市場のところに、沼垂テラス商店街ができて、古いまちに若者が大勢来ています。弁天町の駅前楽天地、私の母親くらいの年齢の方が飲み屋をやっていたところですけど、そこが今若い人たちの店ができて、ずいぶん活気づいています。

それから下本町では県立大学や青陵大学との連携したまちづくり、商店街づくりをやっています。そういうのを参考にしながら、大いに新潟の内野であったり、黒埼であったり、寺尾地域の商店街活性化をしていきたいと思っています。

それから少し産業全体の問題にお話を移します。

(広瀬委員)

お話が長いです。

(坂井委員)

長いですか。

ではこれで、商店街の問題は終わりにします。

(岩協会長)

ありがとうございました。農政商工課の課長、坂井さんのご意見をよくお聞きになって、

これからの市の商業活性化の一つご協力願えればと思います。第3部会でも今後どうするかということ、方向を詰めていきたいと思いますので、部会長、お願いいたします。

それでは質問がなければプロジェクトチーム1の大谷部会長、お願いいたします。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

それではプロジェクトチーム1の会議概要を報告いたします。10月5日午後3時から105会議室で、ご覧の出席委員で会議を行いました。まず第15号の振り返りでございますが、委員から下記の意見が出されました。文字が小さいと、高齢者にとっては読みにくいのではないかという意見と関連して、文字を大きくすると逆に文章量との関係から読みづらくなるのではないかというご意見。それから市民の方から広報紙を読む気にならないという意見が寄せられまして、読ませるための工夫を模索してはどうかと。あるいは他都市の広報紙やコミ協の広報紙など見比べて、魅力的な広報紙づくりの検討をしてはどうかというような意見。それから若い世代については、インターネット等を通じて情報を得る機会が多いと。どうも最近新聞もあまり重みがないということで、少しずつ紙媒体以外の内容についても検討する必要があるのではないかという意見など、様々な意見が出ましたが、結論から申し上げて、様々な模索を行いながら、より良い広報紙づくりを目指すということにいたしました。

それから第16号の企画については、第1面は新年の挨拶、抱負などを、新しい委員から書いていただく。正副会長及び部会長を務めている方はご遠慮いただくという形で、既にお願いをしているかと思いますが、ぜひご協力いただきたいと思っております。

それから2面、3面については、第3部会で大変意義がある西区ふれあいカレンダーを作成いたしましたので、発行の経緯や主に新潟大学の学生からキャラクター作成にご協力をいただきましたので、そうした方のコメントなども掲載し、2面、3面を充実した内容にしたいと思っております。

4面は、うちのコミ協については大野校区ふれあい協議会に依頼ということでありまして。それからとっておきの私の一枚とスポーツ鬼ごっこの体験会については、紙面の状況、その他を考慮しながら、いずれかに決定したいと思っております。クロスワードパズルについては、例年これに合わせて、自治協に対する区民のアンケート調査も行っておりますので、これは継続して行うということで、それぞれ1面から4面までの担当委員のもとで、目下準備を進めているところでございます。11月13日にある程度の最終の作成状況の確認を行って、発行にたどり着きたいと考えております。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。只今のプロジェクトチーム1の報告について、何かご意見またご質問等はございませんでしょうか。なければ、プロジェクトチーム2からご報告をお願いいたします。

(永吉プロジェクトチーム2部会長)

それではプロジェクトチーム2の会議概要について説明させていただきます。開催日時は10月21日、3時から5時までということで会議を行いました。また10月25日に西区アートフェスティバルも行いましたので、そのご報告も、この時間をお借りしてしたいと思います。

まず会議の場所に関しましては、リハーサルを兼ねて、黒崎市民会館の2階の講座室で行わせていただきました。内容に関してはアートフェスティバルの運営マニュアルの確認と当日の進行状況についての説明を事務局、また委託業者からしていただきました。あとは当日に展示いたします舞台の看板や案内看板のデザインの確定、スタッフの配置の分担の一覧の確認。あとはホワイエの一角で、西区区民生活課と連携した「ポイ捨て防止啓発ポスター展」というのを行うことになりましたので、そのレイアウト等についての確認をさせていただきました。当日はスタッフが運営マニュアルを携行し、来場者から様々な問い合わせがあった場合に、受付で一本化して対応するというので、意思疎通を取りながら進めていこうということで話をした次第です。

またアンケートに関しましては、こちらに書いてあるとおり、第3部会で出されたカレンダーのアンケートも加えて、少し詰めた形でお話をさせていただきました。そのアンケートが通常白いボール紙を渡して、座席でも書けるように対応しているのですが、アンケートボックスの近くに記載台があった方がよいという意見がありましたのでそちらの設置と、あとは自由記載欄の設問について、いわゆる自分がもし悪い評価を書く場合に、悪い評価を書いた理由などを書けるような文言を加えたらどうかということで、アンケートについては検討させていただきました。

そのほか28年度特色ある区づくり事業に係る委員アイデアについては、プロジェクトチーム2に該当するものはなかったので、各部会で検討したご意見を尊重するというので、共通の見解を示しております。

また、リハーサルを踏まえて、10月25日、10時から16時15分、計画では16時終了だったのですが、黒崎市民会館で西区アートフェスティバルを開催させていただきました。観客数は延755人ということで、前年が644人だったので、前年度より111名アップということで、かなり好評を博した内容となりました。まだ具体的なアンケート集計結果に関しては統計を取っていない状態なので、その後の部会で検討していきたいとは思いますが、このような観客の動員は、岩協会長をはじめ、プロジェクトチーム委員の渡邊委員、浅妻委員、松井委員、富岡委員、佐野委員、高木委員、並びに協力委員として、長谷川委員、渡辺委員、中原委員、広瀬委員にお手伝いいただきまして、あと事務局を務めていただいた区役所の地域課の皆様のご協力があったからこそ出た数字だと思いますので、この場を借りて、お礼かたがたご報告申し上げたいと思います。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。プロジェクトチーム2からご報告がございました。アートフ

フェスティバル、その他について何かご質問、ご意見等ございますか。広瀬さん、何かございますか。

(広瀬委員)

すみません。公募委員の広瀬です。アートフェスティバルは、私が自治協委員になって初めて参加して、少しだけお手伝いをさせてもらいました。出演者の皆さんのレベルの高さに驚いて感動して、本当に涙が出るぐらいすばらしかったです。特に子どもたち、最後が坂井輪中学校の吹奏楽部の皆さんだったのですけれども、みんなそれぞれが一致団結してすばらしい演奏だったものですから、私は西区ってやっぱりすばらしいなと思ったことが一番です。

(岩協会長)

ありがとうございます。私からも永吉先生、また協力くださいました部会の皆様方、これだけの人数が集まりました。非常にありがたいと思っております。また来年も企画されるとは思いますけれど、また参加人員が多くなるように濃い内容で、一つ地域住民に喜ばれる内容にしていきたいと思っております。地域の伝統芸能というのは地域の活性化に非常に役立つのではないかと私は思っております。皆様方、どうもありがとうございました。

最後に私からお願いなのですがすけれども、私、午前中少し拝見しておりました。協力者が少し少なかったのではないかな。特に舞台関係で、長谷川さんが汗だくで椅子を並べたり、引っ込めたりしたと。そういうことで来年は手の空いているという失礼でございますが、可能な限り都合を付けて協力してもらいたいとお願い申し上げておきたいと思っております。

< 3 報告事項 (1) 西区支え合いのしくみづくり会議 (協議体) の出席委員について >

(岩協会長)

それでは報告事項です。(1) 西区支え合いのしくみづくり会議 (協議体) の出席委員について、私から報告したいと思います。前回の本会でお話のあった西区支え合いのしくみづくり会議設置準備会及び協議体に出席する委員について、23日の運営会議で検討した結果、準備会等へは、福祉の担当部会である第2部会の郷部会長、大谷副部会長から出席していただくことになりました。今後準備会及び協議体での議論の内容などについては、随時部会及び本会で報告いただければと思っております。郷部会長、大谷副部会長、よろしくお願いたします。私からの報告は以上でございます。只今の私の説明について、ご意見、ご質問等ございますか。

ないということなので、次に移ります。

< 3 報告事項 (2) 平成 27 年度 新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会の結果について >

(岩協会長)

(2) 平成 27 年度新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会の結果報告について、下川副会長からご報告をお願いいたしたいと思っております。

(下川副会長)

それでは報告させていただきます。9月4日、午後2時から本庁の3階で会議が行われました。議事の内容は以下のとおりでございます。次のページを開けていただきますと、推進協議会の構成メンバーになっております。1号委員から2号、3号、4号、5号となっております。各区から代表者が出ています。本会におきまして会長が1番目の第1号委員、斉木悦男さんという弁護士の方が会長になりました。それから副会長は10番目の3号委員の新潟商工会議所の大高知史さんとおっしゃる方がなりました。今回は第3次計画の推進ということで、25年度からやっております、今年が最後の年度なのです。

それでは次のページを開けていただきまして、新潟市の犯罪の発生状況。これは資料に基づいての説明がありました。全部を説明していると時間がないので、抜粋して報告しますが、この中で粗暴犯というのが全体でも大変増えています。プラス22件。それから窃盗犯は減ってはいるのですけれど、侵入盗、非侵入盗、それから非侵入盗の中の乗物盗とありますけれど、これは自転車盗が入っております。この侵入盗、それから非侵入等の乗物盗については、本会で特に警察の方からのお願いがありましたけれど、大半が無施錠、鍵かけをしていないので、ぜひ鍵かけを皆さんに呼びかけてほしいということを強く要望されておりましたので、この場をお願いしておきたいと思っております。

それから風俗犯は強制わいせつがプラス10件とうことです。これを区別に見てみますと、西区は特殊詐欺がプラス6件ということで大変増えています。実は昨日、特殊犯罪防止推進委員の会議がありまして、私行って来たのですけれど、そこでもやはり同じような話が出ていました。あと侵入盗がプラス7件。それからその隣のゲートウェイ犯罪というのも注目してもらいたいののですけれど、減ってはいるのですけれど、万引きが95件。自転車盗が184件。このゲートウェイ犯罪は、こういうことをやっている人が重大犯罪につながるということで、この名称を使っているようです。万引きとって簡単に片づけている、見逃していることが重大犯罪につながっていく。自転車盗も軽い気持ちでやっているのが、やってみたら誰にも注意されない。そういうことの積み重ねで重大犯罪につながるということであります。

それから特殊詐欺の発生状況は、振り込め詐欺が相変わらず全体でプラス23件。その中のオレオレ詐欺が19件、架空請求が13件プラスです。少し注目したいのは、金融商品等の犯罪も3件で909万円。だから1件当たりの金額、単価が大きいのですね。

次のページにいきまして、今度は区別にこれを展開しているのですが、西区を見ますと、

特殊詐欺の振り込め詐欺がプラス6件、内訳はオレオレ詐欺がプラス3件、架空請求は計3件。注目は振り込め詐欺以外の詐欺で、金融商品等で2件406万円となっているのですが、新潟市では合計3件ですので、そのうちの2件が西区である。西区はお金持ちが多くて、だまされやすいという人がいい、そういう点をこういう人たちはよく研究して、集中的に攻撃しているのかなと思うのですけれど、そういう数字になっています。

それから次に街頭防犯活動の実施状況について、数字が出ていますが、3次計画で27年度の目標が88件に対して、4月から6月までが30件で34.1%。西区はどうかというと、目標値が12件ですが、1件のみという報告を受けました。それから新潟ボランティアネットワークの登録数。目標160団体に対して154団体が登録している。これは単年度と累計がありますが、少しごちゃごちゃしますけれど、要するにボランティアネットワークの登録は団体数の累計です。ということで96.3%までできました。それから西区ではどうかというと、目標値17団体に対して22団体が登録しているので、数的には達成しているという状況です。

次のページをめくってください。防犯の講習会「さわやかトーク宅配便」の開催数はどうかというと、3次計画では一般が20回、子どもが30回という目標に対して、6月までは一般が5回で25%。子どもが40回で133.3%。これは子どもの体験型安全教室が入っているために、回数が相当増えていると。新しく進級した子ども、新しく入った子どもたちを対象に、かなり学校で積極的に行っているということだと思います。

それから3番目の青色回転灯装備車委嘱団体。これは青パトというやつです。これは手続きが非常に複雑でなかなか難しいのですけれど、3次計画では24団体を目標値としているのですけれど、全体では15団体で62.5%。これも累計です。西区ではどうかというと、2団体の目標に対して、2団体がもう6月末までにできている。ですから皆さん方も朝の通学時間帯に経路を青パトが通っているのを見たことがあると思いますけれど、結構積極的に活用しています。

それから次のページにいきますと、「第3次新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進計画」ということで、各区の取組状況、項目が42項目あるのですけれど、西区では21項目に取り組んでいる。具体的に取り組んでいる内容が次のページからあるのですけれど、これは後でお読みいただくということにさせていただきたいと思います。

いずれにしても、28年度、来年から始まる計画については、3月までにもう一度推進委員会がありまして、そこでまとめて4月から28年度3カ年として実施されます。今私がお話した27年度分は新潟市のホームページにも記載されているそうですので、インターネットを使える方はぜひそれをご覧になって、詳しく見ていただくとありがたいと思います。以上、報告させていただきました。

(岩協会長)

ありがとうございました。只今のご説明に、質問またはご意見等がございましたら、お願いします。金融商品等の詐欺は、新潟市3件のうちの2件が西区ということで、裕福な

家庭が多いということを言われましたけれど、私どもも気を付けていかなければだめだなと。わざわざ寺尾駅まで四百数万円持っていく。そういう人もおりますから、相当西区は豊かだと思えます。

なければ、次第の最後、その他でございます。事務局から何かありますか。

(事務局：高田地域課長)

事務局からご連絡でございます。まず私からですが、前回第6回自治協議会本会にて、「(仮称)内野地区集会施設の設置及び指定管理者制度の導入について」、これは必須意見聴取事項でございますけれど、こちらをお伺いして、皆様からは異議ない旨お答えいただきました。大変ありがとうございます。今後でございますが、12月議会に施設の設置に関する条例を上程いたしますが、西出張所及び西地域保健福祉センターを除いた集会施設部分の名称につきまして、要望書をいただいた団体のご意見を踏まえまして、「内野まちづくりセンター」という名称で議案として上程させていただきますことをご連絡差し上げたいと思えます。よろしく願いいたします。続けて、堀係長からご連絡いたします。

(事務局：堀企画係長)

恐れ入ります。それではお手元の会議資料「平成27年度西区自治協議会開催予定」、A4の資料をご覧ください。次回第8回会議は11月25日水曜日、午後3時から、会場は本日と同じく健康センター棟1階大会議室となります。会議の議題等につきましては、運営会議で調整させていただき、改めて皆様へご連絡させていただきます。また同日午後1時半より第2回教育ミーティングを開催いたします。詳細につきまして教育支援センター所長の長谷川よりご説明させていただきます。

(担当課：長谷川西区教育支援センター所長)

教育支援センターの長谷川でございます。今日は皆様にお配りしました区教育ミーティングの開催について説明をさせていただきます。委員の皆様には、9月29日開催の第1回西区教育ミーティングの際にたくさんのご参加、また多くのご意見をいただきましてありがとうございました。本年度2回目の区教育ミーティングでございますが、開催依頼文の中ほどに記載のとおり、来月の自治協議会の前、11月25日の午後1時30分から3時まで、こちらの会場で開催を予定しております。また懇談テーマにつきましては、以前に皆様方へお伝えしておりましたとおり、自治協議会の教育を担当する第2部会において決めさせていただきました。「西区の学・社・民の教育の取り組みについて」とし、第1回目のミーティングと同じテーマとなりますが、前回よりも内容を深く掘り下げたて、子どもたちへのより充実した教育活動を行うために学校はどうすればよいか、地域ができることや家庭、企業ができること、公民館や図書館ができることなどについて、この内容に絞った形で意見交換を行ってまいります。

次に参加の対象者でございますが、2回目となる今回は、教育を担当する第2部会の委

員の方を対象とさせていただきます。なお、今回のテーマについて懇談を希望される場合は、第2部会以外の方でも参加は可能でございます。最後に出欠のご連絡ですが、第2部会の方は出席もしくは欠席のご連絡をお願いいたします。また第2部会以外の方につきましては、参加を希望される方のみご連絡をお願いしたいと思います。いずれも期限は来月の11日の水曜日とさせていただきますが、お配りしましたご案内の裏面が連絡票となっておりますので、ご利用をいただければと思います。どうぞ、よろしくをお願いいたします。私からは以上でございます。

(岩脇会長)

私も全部目を通していなかったものですから、今、対象部会以外の方も希望により参加できるということですから、せっかくの機会でございますので、西区担当の教育委員は年2回しか来ませんから、委員の皆さん方で、都合のつく方は出席して意見交換していただければと思います。

(事務局：堀企画係長)

続きまして地域ミーティングのお知らせでございます。11月8日日曜日、午前9時から午後2時まで、本日と同じく健康センター棟1階大会議室にて、「市長の地域ミーティング in 西区」を開催いたします。自治協からは会長、副会長にご出席いただきます。お手元のチラシに記載のとおり、時間帯によって対象地区が異なりますので、傍聴を希望する方はご確認の上、直接会場までお越しください。

続いて、新潟大学からシンポジウムのお知らせが届いておりますので、永吉委員よりご説明をお願いいたします。

(永吉委員)

それでは青色のチラシをご覧ください。オレンジの字で「大学改革 教育学部 新課程廃止と今後に向けて」とあります。新課程という言葉が分かりにくい言葉だと思うのですが、分かりやすく言うと、今まで高田分校時代から芸術とスポーツの学部というのが存在していたのですが、それが文科省の人文縮小の試金石ということで、まず初めに教育学部にメスが入っていきまして、現状廃止は決まっているのですが、今後の方針に関しては一切ゼロという状態になっております。ですので、今まで長い歴史の中で、新潟の中の文化を培ってきた芸術とスポーツを、どのようにこれからやっていこうかということ、市民の方々の意見をお伺いする機会として、このような「地域の芸術・スポーツを担う新潟大学への期待」というシンポジウムを開くことになりました。ですので、私も芸術、例えば最近作りましたカレンダー。あれも正直私どもの学生がいなければ成り立たないようなものでもありますし、スポーツ関係に関しては、地域スポーツの創始に関して、様々な貢献をしているというのをよくご覧になっているかと思っておりますので、そのような身近にある新潟大学の活動について、今後の忌憚ないご意見をいただきたいと思っておりますので、ぜひ10月

31日、13時から15時まで、新潟大学教育学部大講義室で行っておりますので、参加いただきたいと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

(事務局：堀企画係長)

ありがとうございました。これ以降は各種広報紙となりますので、後ほどご覧いただければと思います。事務局からは以上となります。

(岩協会長)

ありがとうございました。今永吉委員から新潟大学は学部が縮小されるという発言がありましたけれど、これは本当に大変なことだと思います。それではほかに委員の皆様方から、何かご意見ありますか。坂井委員、お願いいたします。

(坂井委員)

第3部会の検討でいいかと思うのですが、BRTが出発してから2カ月近くになりました。私は1回乗ってみましたけれど、様々なことを感じています。冬になったら余計大変になるなど、青山で待っているときそう思いましたし、地域公共交通のいろいろな提案とありますか、改善プランが検討会議に出されていますので、ぜひこれは早めに具体化して、いろいろ相談が必要だと思いますので、BRTの評価結果と地域公共交通の問題についての話し合いをしてほしいというお願いであります。

(岩協会長)

ありがとうございました。検証は1年後でしたね。

(事務局：高田地域課長)

時期は未定です。

(岩協会長)

そうでしたか。

これは検討会議でということですが、検証は1年後に別でされるということですから、一つご了承をお願いしたいと思います。ほかに何かご意見ありますか。長谷川委員。

(長谷川委員)

お願いなのですが、この間行われましたアートフェスティバル。ああいう会場は西区にいくつあるのかわかりませんが、もしあそこ1カ所、黒埼に1カ所しかないのであればあれでよろしいのですが、来年、持ち回りで小針を使うとか、場所を変えてやるような方法を考えてもらえないか。そうすると聞きに行く方も変わるのではないかなと思います。お願いします。

(岩協会長)

ありがとうございました。西新潟市民会館は駐車場が少し狭いということでございます。ただ近くに小針野球場もあるので、歩いて5～6分かかるといことで、今までそういう形になっておりましたけれど、今後検討させていただきたいと思ひます。ありがとうございました。

ほかにありませんか。なければこれで平成27年度第7回西区自治協議会を閉会いたします。どうも今日は長い間ありがとうございました。